

自分たちらしい修学旅行（OODA ループの実践）

2 学年主任 田方 則子

1 はじめに

教育活動が、大きく方針を変えざるを得なくなって4年。多くの学校が、手探りの中で工夫を重ね、従来どおりではなくとも今できる精一杯の教育活動を行っている。昨年、文部科学省より「令和3年度における修学旅行等の実施に向けた配慮について」という通知が出されていたが、修学旅行の実施予定時期に、新型コロナウイルス感染症罹患率が第7波を迎え、本校ではやむを得ず中止とした経緯があった。修学旅行といえば、生徒たちにとってかけがえのない貴重な思い出となる有意義な教育活動であり、今年度はどうしても実施したいという強い思いが年度当初からあった。

2 計画の見直し（Observe 観察・Orient 状況判断・方針決定）

(1) 1年次に計画されたプラン

関東方面・1月実施・3泊4日・飛行機利用・自主研修あり

令和3年時は1月の感染者数が最多であったことや、日程と人数の関係上、費用が9万円をオーバーしてしまうこと、十分な感染対策を再考しなければならないこと等を踏まえ、すべてをゼロから練り直すことにした。

(2) 変更に係る基本の方針

- ① 生徒、保護者、引率教員全員が安心して実施できること
- ② 各家庭の経済状況を考慮し、なるべく負担がかからない状態で実施し、経済的事情で不参加となる生徒が出ないようにすること

以上の2点を踏まえ、厚生労働省の各種データや感染対策を分析し、契約先である旅行会社から各地域の情報を得て、次のように変更した。

(3) 見直したプラン

① 中国・九州方面

人口の多さに比例して、都市部ほど感染の確率がやや高くなる傾向があり、確率を少しでも下げるために大都市は避けた。陽性となった場合の対策マニュアルを設定している県も参考にした。また、万が一感染もしくは体調不良になった場合、保護者の迎えが必要となる。その場合、自家用車で運転できる距離としては、なるべく短い方がよい。隔離された生徒も、距離的に近い方が少しでも安心して療養できるのではないかと考えた。

旅行業者からは、時期と費用のバランスを考えると、広島あたりがよいのではないかとという提案があった。

② 11月実施

令和2年と3年の感染者数のピークは、長期休み前後であった。人流が増える時期を外し、他の学校行事や検定等の日程と照らし合わせ、かつ費用が上がるシーズンの直前時期を考慮して、決定した。

③ 2泊3日

充実度を考慮すると3泊4日は捨てがたい。しかし、生徒、引率教員ともに疲れが蓄積することによる感染や、気の緩みで対策がおろそかになることが考えられた。何より、さまざまな料金が値上げされたことと感染症に対する旅行保険料等、費用面を試算すると、日程の減数もやむを得なかった。

⑤ 団体行動主体

自分たちで計画し、迷いながら目的地へ向かう、という従来の内容は、たしかに課題解決能力の育成に必要な経験である。しかし今回は感染防止を第一に考え、行動履歴がわかりやすく、指導が届きやすい団体行動を主とした。

(4)生徒による行程案プレゼンテーション (Decide 意思決定)

(3)については、完全に学校側が設定した。生徒の安全面が第一ではあるが、計画者としてはやはり、生徒が楽しい、行って良かったと思えるような旅行にしたかった。そこで、方面と条件だけを提示し、生徒たち自身に行程を考えてもらい、プレゼンテーションで決定するという活動を実施した。

〈生徒たちが作成したプレゼン資料の一部〉



生徒は、インターネット上の情報に頼るだけでなく、保護者等に話を聞いたり、他校の生徒からも情報を得たりして、パワーポイントでスライドを作成した。全員がプレゼンを行い、その中から同意多数を得たものを行程案に盛り込んだ。旅行者からは「これ以上は時間的に限界です」と言われるほどだったが、結果として見所満載の、生徒も引率者も満足 of 行程となった。

3 旅行の実際 (Act 行動)

懸念された不参加者もなく、3日間を全員が元気に笑顔で過ごせた。全員が自主的に15分前行動を心がけ、スマートフォンの使用も節度をわきまえた。また、交通機関の座席やホテル内で、嫌な思いをする生徒がいないようにみんなが目配りをしていたのが非常に印象深かった。

出発直前に政府の全国旅行支援事業が決定し、1泊8,000円の宿泊料金割引と、1県につき3,000円のクーポンが使用できたことも大変良かった。



4 修学旅行を終えて

誰一人体調不良を訴えることなく、基本の方針である「安心した」旅行を完遂できたことに大変安堵した。

生徒、保護者からも「もう一度行きたい」「もっといろいろな場所について知りたい」「行かせてあげられて本当に良かった」という声を多くいただいた。生徒たちが一番印象に残った場所として、秋芳洞を挙げていたことも驚きで、「知る」ということの楽しさを体感できたが故のことだと思う。大まかな枠組みは学校側が決めたが、内容に関しては生徒自身が自分たちで考え、計画できたことも満足の一因だろう。

事前に新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの予防接種をお願いしていたため、計画的に接種を受けた生徒も多く、流行前にインフルエンザの免疫を得られたことも最後に付け加えておく。